

令和7年度若者による地域活性化事業 審査結果一覧

No.	申請区分	団体名	事業名	目的	事業の内容	事業費(円)	補助金額(円)	審査結果	意見
1	新規	ございんマルシェ実行委員会	ございんマルシェ	高齢化や人口減少の影響により、大原地区の商店街は活気を失っているため、マルシェの開催を通じて市民の笑顔や会話があふれる地域づくりを推進するとともに、空き店舗を活用して商店街の活性化を目指す。	大原商店街の空き店舗を活用し、地元の農産物や企業商品、工芸品など地域資源を活かしたマルシェを開催する。出店数は約20店舗。	204,002	200,000	採択	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗の活用がイベント(マルシェ)当日に限定されているように見受けられ、一時的な盛り上がりは達成できると考えられる。一方で、商店街の活性化や「老若男女全ての人がやりたいを実現できる場」として発展していく過程については、現時点では十分に見えてこない印象を受けた。 ・周知方法を工夫し、来場者の増加につながるよう取り組んでいただきたい。 ・現在の委員構成のままでは、事業申請2年目において補助対象の要件を満たさなくなるため、若者の参画を促しながら事業に取り組んでほしい。
2	新規	KONASHI BASE	小梨地区住民多世代交流地域づくり事業	地域の多世代住民(高齢者・子育て世帯など)が互いに認識し、交流できる関係性を築くことを目的とする。世代を超えたつながりを通じて孤立を防止し、地域課題の解決を図り、誰もが安心して暮らせる地域コミュニティの形成を目指す。また、交流の場づくりや地域資源の活用を通じ、持続可能で豊かな地域社会の実現に貢献する。	小梨市民センターなどを会場に、納涼デイキャンプや「こども緑日」などの季節行事を開催するほか、輪投げやボードゲームによるレクリエーション交流会、蜜蝋ロウソクづくりなどのクラフト体験ワークショップを実施する。	212,500	187,000	採択	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的や内容を踏まえると、対象事業は(5)ではなく、(2)または(6)に該当するのではないか。 ・実施場所を固定することで、地域の拠点としての印象が生まれ、住民の皆さんへの訴求力が高まると思う。 ・2年日以降に予定される自主的な活動の立ち上がり、定着、発展や担い手の発掘・育成について、次年度の事業計画において具体的な提案を期待している。